

「令和6年度いわて新農業人チャレンジファーム第19回研修を開催しました！」

第19回の研修は、令和6年10月25日（金）と26日（土）に、雫石町南畑のコテージむらで開催しました。

今回の研修は、野菜栽培の振り返り、秋じまい、農具の手入れについての講義と、実習では、大玉トマトの片付け、はくさいとねぎの収穫を行いました。

講義では、今年度の研修において栽培した14品目の野菜栽培の振り返りを行い、栽培野菜のは種・定植から収穫までの作業内容や生育状況、成功したこととうまくいかなかったことなど、栽培当時の写真を見ながら1品目ずつ振り返りました。

指導員から受講生へ、野菜栽培してみでの感想を聞いたところ、「家で栽培した物より良い物が収穫できた。」「暑い時期、ねぎの土寄せのタイミングが難しい。」等の声が上がりました。

休憩の後の実習では、パイプハウスにおいて、

大玉トマトの片付け作業から行いました。

まず、最後の収穫を行ったあと、隔離床から株を抜き取り、培土はブルーシートに開けて、残った細かい根を取り除きました。培土は再利用するため、数人で隔離床に戻す作業が必要でしたが、今までの研修で培ったチームワークを発揮し、手際よく終わることが出来ました。

最後に、はくさいとねぎを収穫して、今年度の雫石町南畑での研修は終了しました。

次回からは、講義が中心になりますが、引き続き、農の夢に向かって頑張しましょう。

次回の第20回研修は、11月9日（土）に、盛岡市勤労福祉会館において、修了生も参加対象としたオープン講座を行います。外部講師をお招きして、岩手県における野菜の流通と販売事例についての講義と、修了生による事例発表、受講生と修了生を交えた意見交換会を開催の予定です。



講義：「野菜栽培の振り返りについて」の様子



パイプハウス内の大玉トマトを片付ける受講生



包丁を使ってはくさいを収穫する受講生



ねぎの根本を引き抜いて収穫する受講生